札幌市立清田緑小学校

学校だより

令和８年(2026 年) 1 月 16 日

〇学校評価アンケートの結果について

特別号

清田緑小学校ＨＰ ◆https://www.kiyotamidori-e.sapporo-c.ed.jp/

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。先日実施したオンラインでの保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。
今年度のアンケート結果をお伝えいたします。ご覧いただき、お子さんとも話題にしていただけると幸いです。現在、学校では新年度の教育活動を計画しています。皆様にお寄せいただいた今回のアンケート結果を活用させていただき、よりよい学校づくりに努めて参ります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

必須Ｑ1 お子さんは、多くの友達と関わり合い仲良く過ごしていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	68
どちらかと言えば、当てはまる	93
どちらかと言えば、当てはまらない	14
当てはまらない	2

よく当てはまる: 68 (38.4%)
どちらかと言えば、当てはまる: 93 (52.5%)
どちらかと言えば、当てはまらない: 14 (7.9%)
当てはまらない: 2 (1.1%)

必須Ｑ2 お子さんは、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、人の話を最後までしっかり聞いたりしていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	36
どちらかと言えば、当てはまる	118
どちらかと言えば、当てはまらない	23
当てはまらない	0

よく当てはまる: 36 (20.3%)
どちらかと言えば、当てはまる: 118 (66.7%)
どちらかと言えば、当てはまらない: 23 (13.0%)
当てはまらない: 0 (0.0%)

必須Ｑ3 お子さんは、たてわり活動（異学年交流）で、周りの人への尊敬の気持ちや思いやりの心をもっていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	53
どちらかと言えば、当てはまる	115
どちらかと言えば、当てはまらない	9
当てはまらない	0

よく当てはまる: 53 (29.9%)
どちらかと言えば、当てはまる: 115 (65.0%)
どちらかと言えば、当てはまらない: 9 (5.1%)
当てはまらない: 0 (0.0%)

必須Ｑ4 お子さんは、「自分は大切にされている」と感じ、安心して学校生活を送っていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	57
どちらかと言えば、当てはまる	108
どちらかと言えば、当てはまらない	9
当てはまらない	3

よく当てはまる: 57 (32.2%)
どちらかと言えば、当てはまる: 108 (61.0%)
どちらかと言えば、当てはまらない: 9 (5.1%)
当てはまらない: 3 (1.7%)

必須Ｑ5 学校は、お子さんや保護者の方々の話をしっかり受け止め、対応していますか。

回答	回答数
よく当てはまる	66
どちらかと言うと、当てはまる	103
どちらかと言うと、当てはまらない	8
当てはまらない	0

よく当てはまる: 66 (37.3%)
どちらかと言うと、当てはまる: 103 (58.2%)
どちらかと言うと、当てはまらない: 8 (4.5%)
当てはまらない: 0 (0.0%)

必須Q7 お子さんは、自分で疑問や課題をもち、進んで学習に取り組んでいますか。

回答	回答数
よく当てはまる	29
どちらかと言うと、当てはまる	99
どちらかと言うと、当てはまらない	44
当てはまらない	5

- よく当てはまる: 29 (16.4%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 99 (55.9%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 44 (24.9%)
- 当てはまらない: 5 (2.8%)

必須Q8 お子さんは、考える過程を楽しんで学習に取り組んでいますか。

回答	回答数
よく当てはまる	30
どちらかと言うと、当てはまる	86
どちらかと言うと、当てはまらない	55
当てはまらない	6

- よく当てはまる: 30 (16.9%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 86 (48.6%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 55 (31.1%)
- 当てはまらない: 6 (3.4%)

必須Q10 お子さんは、周りにいる仲間のよいところを認め、周りの人を大切にしていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	67
どちらかと言うと、当てはまる	108
どちらかと言うと、当てはまらない	2
当てはまらない	0

- よく当てはまる: 67 (37.9%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 108 (61.0%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 2 (1.1%)
- 当てはまらない: 0 (0.0%)

必須Q11 お子さんは、友達との関係で困ったときに、お家の人や先生、他の友達など誰かに相談することができていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	76
どちらかと言うと、当てはまる	87
どちらかと言うと、当てはまらない	12
当てはまらない	2

- よく当てはまる: 76 (42.9%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 87 (49.2%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 12 (6.8%)
- 当てはまらない: 2 (1.1%)

必須Q13 お子さんは、積極的に運動に親しもうとしていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	77
どちらかと言うと、当てはまる	64
どちらかと言うと、当てはまらない	33
当てはまらない	3

- よく当てはまる: 77 (43.5%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 64 (36.2%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 33 (18.6%)
- 当てはまらない: 3 (1.7%)

必須Q14 お子さんは、運動や食生活、睡眠など、健康的な生活習慣を身に付けようとしていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	53
どちらかと言うと、当てはまる	92
どちらかと言うと、当てはまらない	29
当てはまらない	3

- よく当てはまる: 53 (29.9%)
- どちらかと言うと、当てはまる: 92 (52.0%)
- どちらかと言うと、当てはまらない: 29 (16.4%)
- 当てはまらない: 3 (1.7%)

必須Q１６ 学校は、家庭や地域と協力して教育活動を行っていますか。

回答	回答数
よく当てはまる	52
どちらかと言うと、当てはまる	113
どちらかと言うと、当てはまらない	12
当てはまらない	0

必須Q１７ 学校は、幼稚園や保育園、中学校と連携した教育活動に積極的に取り組んでいますか。

回答	回答数
よく当てはまる	47
どちらかと言うと、当てはまる	111
どちらかと言うと、当てはまらない	19
当てはまらない	0

必須Q１８ 学校は、HPやお便り、懇談等を通じて学校の取組を積極的に発信していますか。

回答	回答数
よく当てはまる	58
どちらかと言うと、当てはまる	110
どちらかと言うと、当てはまらない	9
当てはまらない	0

保護者アンケート：自由記述回答について

自由記述項目についても、たくさんのご回答をいただきました。紙面の都合上、全てを掲載することはできませんが、いただいたご意見の中から一部を紹介いたします。（原文のまま、又は一部抜粋）

【よりよい人間関係づくり】に関わって

・クラスのみんなが積極的に関われる環境や自主性を促す流れを作ってくださり、担任の先生に感謝しております。
・たてわり活動や、学年の活動、クラス、係の活動を通して、いろいろな子どもたち同士の関わりを経験するだけではなく、よりよい人間関係になるためには、先生方の導きが必要になると考えています。
・小学校生活6年間を通して、他学年との交流は人間関係の幅が広がりとても良い経験になっていたと思います。
・デジタル機器を使わざるを得ないこのような時代ですが、特別な経験でなくても、普段から人との交流があるといいな、と思います。
・委員会で、上の学年の子が仕事を全然してくれないと家庭で話すことがあります。上の学年にはこうしてと言葉で伝えることができないようです。たてわりや委員会、クラブなど他の学年との関わりがある機会には先生に中に入って貰い、言えるような関係が築いてもらえると、今後中学高校と行った際にも学年関係なく円滑に関係作りができるので学んで欲しいと思います。
・子ども同士の言い争いがあった時に教師に話しを積極的にする子を被害者として扱い、相手が悪者として話が進みとりあえず謝らすよう促すというやり方に対して疑問があります。教師に話しをしない子はその言い争いの中で傷ついたりしている事はないのかただ悲しい気持ちにはなったが教師に話をしないだけではないか見えない事柄も想像して解決するようにして欲しいです。謝らせるのは手っ取り早いやり方ですがそれは本当にお互い納得して解決してると言えません。根本の解決にはなっていません。小さなケンカに思えるかもしれないですが子どもにとっては時に友達との喧嘩は重大な事態ですので、もう少し丁寧に扱って欲しいです。

学校から

〇「よりよい人間関係づくり」については、本校の重点目標として取組を継続することで、子どもたち一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるようにしていきます。子どもたちは様々な人間関係の中で生活しています。子ども同士の関わりの中でうまくいかない場面もあるかと思いますが、そのような時こそ、教師が寄り添い、子どもたちが自分で考え、成長していけるよう支援していきます。

【学ぶ力】に関わって

・疑問を投げかけることができる環境、疑問に周りが反応できる環境を作ることによって、学ぶ力が育っていくと思います。
・読解力、文章力がなく、作文の課題を出すなど先生も一生懸命考えてくれています。
・算数のグループ分け学習は、本人にとって凄くよかったそうで、自分なりに自信がついて楽しく感じるようになったようです。今後も続けてほしいです。また読解力や文章力が身につく学習も取り入れてほしいです。
・まだ幼い事もあり、学ぶ事に対して意欲的ではありませんが、課題には真面目に取り組んでいます。
・学ぶことに必要な疑問を投げかけられる環境もそうですが人の話に耳を傾けるという傾聴力も養われているように思います。
・宿題などやらされてる感はありますが、サボってはいけないと思っているようで、勉強時間は少しは確保できてます。興味を持って主体的に学べるようになってほしいと思っています。
・課外学習、体験型がもっと増えていくと良いなと感じます。
・図工の材料を持たせているのですが、忘れた友達に材料をあげていることがあるようです。家にないものは購入して持たせているので、お友達の分も買っているのかと思うと、少しもやもやします。学校の方で、忘れた子用の材料などは用意していないのでしょうか？

学校から

〇昨年度も話題になっていました、家庭学習ノートなどの「自主的な学習」の取組は、必要に応じて、学習する内容を考えたり工夫したりしながら自分で内容を決めて学習する力を付けることがねらいです。家庭学習を行う際に、どのように取り組む内容を決めたらよいのか、どのように取り組むのか等、学年に応じて、子どもたちが学び方について学んでいく機会を設けていきます。

〇いつも図工や生活科等、学習で使用する材料の準備をしていただきありがとうございます。家から持参した材料は、友達にあげたり交換したりしないように学級で指導することを職員で確認しました。今後徹底してまいります。尚、忘れた子が使えるように学校でも材料を準備しておりますが、十分な量を確保できていない場合もあります。忘れ物のないよう、ご家庭でもお声がけをよろしくお願いいたします。

【豊かな心】に関わって

・学校でも、家庭でも、同じ方向を向いていくことで、子どもたちも自己肯定感をあげて、進んでいけるかと思います。
・開放図書があるのでたくさん本を読める環境が有難いです。
・心を豊かにすることもそうですが、心を表現するための語彙を育てるために、本を読むことを大切にしてほしいと思います。
・学年やクラスで女の子同士の仲良しグループが出来ているので、自分の子供が違う仲良しグループに入ろうとすると嫌な顔をされる事があったので、豊かな心は当てはまるのか疑問に思いました。

学校から

〇図書司書ボランティアの方々のご協力のおかげで、本校の図書室は大変充実しております。また、全国学力学習状況調査においては、本校は、本に親しむ子が多いという結果も出ています。今後も継続して本に親しむことができる環境づくりを進めていきます。

【健やかな体】に関わって

・ほけん便りに記載されている、睡眠や食事の事があると親子で一緒に見て『これからこうしていこうね』、『こういうことを試してみよう』と参考にさせてもらっています。
・子供の特性を理解していただき、見守っていただいており感謝しております。これからも学校側と連携を取り、少しでも子供の成長へと繋がる様に関わって頂ければと思います。
・外で遊ぶタイプではないですが、学校では休み時間に友達に誘われて体を動かしていることもあるようなのでありがたいです。
・運動に関して苦手意識があります。なのでなかなか自分から進んでするのは好きなことに偏ってしまいます。体育以外にも遊びやレクなどで学校で体力づくりができればと思います。

学校から

〇今後とも、保健便りや給食便り等を通して、健康や食育について保護者の皆様と連携を深めていきます。また、生活習慣は子どもの健康のみならず学力にも結び付いていることが明らかになっています。学校では引き続き運動を推奨することから、食欲や十分な睡眠につなげていくように関わっていきます。昨年度も同様のお願いをさせていただきましたが、睡眠やゲーム・スマートフォンの時間等のコントロールを含め、望ましい生活習慣が確立できるよう、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【保護者や地域、他校種との連携】に関わって

・なかなか実現は難しいかと思いつつ、交通安全パレード以外にも、子どもたちが他校との交流する良い機会があっても良いかと思います。
・他の地域では、二つの学校で、同じオンライン授業を受けて、オンライン上で子どもたち同士が相談し合ったりするプロジェクトがありました。
・特定のクラスや学年になってしまうかと思いますが、遠隔授業であれば交流ができ、中学校で一緒になる子どもも多いため良い刺激となりそうです。
・職場の区では、小学生が保育園や幼稚園に遊びに来て保育士の仕事をメモしたり小さい子と触れ合う機会があり、清田でもあれば楽しいなと思いました。中学生は１日職業体験で保育園幼稚園に丸一日来て先生の補助をしてくれます。

学校から

〇幼稚園や保育園との連携については、学習発表会の児童公開日に、近隣の保育園の年長さんが発表を見に来てくれました。また、12月には、１年生の生活科の活動に幼稚園保育園の年長さんを招待しました。５年生の総合的な学習の時間でも、交流を計画しています。中学校との連携では、１２月に清田中学校生徒会の皆さんが来校し、本校の書記局児童とともに、玄関であいさつ運動を行いました。２月には、６年生が清田中学校へ行き、授業見学等を行います。他には、教科の学習や総合的な学習の時間にゲストティーチャーに来ていただき指導をしていただく機会を設定しました。今後も幼稚園・保育園や中学校と交流する機会や外部の方々にご指導いただく機会を積極的に設けることで、子どもたちに豊かな心や社会性を育んでいきます。

【運動会や学習発表会等の行事】に関わって

・運動会、学習発表会での子どもたちの発表はとても素晴らしかったです。家でもよく取り組みのことを話していました。子どもたちに合わせた進め方で、取り組みをしてくださっていたためか、練習を全く嫌がらずに楽しんでいるようでした。
・運動会、発表会前に持ち帰ったどこで踊るか印をつけた紙が、どこに席を取るか事前に考えることが出来て良かったです。
・運動会で、徒競走、ダンスのほかにもう一つ種目があるといいなと思いました。
・コロナ禍だったし働き方改革とかインフル流行もあると思いますが運動会も学習発表会も内容が少なすぎて見応えをあまり感じなかった。
・１つの種目に対して先生方が、学校側がどういった目的でその種目に向かって進めてくれているかなどをもっとアプリかきらりに載せて欲しい。
・運動会に関してですが、盛り上がりに欠けるような印象でした。発表会に近い感覚でした。あえて赤白対抗のような競技をなくしているのでしょうか？チームで協力して、勝って嬉しい、負けて悔しいという気持ちを持つ事はとても大切だと思っています。争いではなく、仲間との一体感を感じるものとしてです。徒競走だと一人一人の活躍ですが、待ち時間や、他の学年も同じ事をするのでは、児童も観覧側も飽きるような印象です。高学年だからこそ出来る競技、低学年でも楽しめる競技、たくさんあると思います。お兄さんお姉さんになったら出来るんだ！とそこに憧れを抱く子もいると思います。時代と共に形が変わるのは仕方がありませんが、運動会の意図や目的がよくわからなかったというのが正直な感想です。日々の活動では個を大切にしてくださるのは大変ありがたく、また先生方も団体と個の両方を見るのは非常に偉大で大変な事をしてくださっていて感謝しかありません。その中でも運動会は個よりも和を大切にしてほしいなと願います。
・毎年学習発表会の時期はインフルエンザや体調崩す子供達が多いので、もう少し早めの時期にした方がいいかなと思いました。
・学習発表会のお便りについて発表や登園時間の見方がわかりにくく子供の発表を見逃した。親と子供の登園時間という書き方や時程ではなく発表時間などわかりやすく書いて欲しい運動会も含めて行事の案内がわからなさすぎる。いつも困ってます。改善求めます。
・遠足の公園まで徒歩で移動するのは、１年生には体力的に厳しいと思いました。もう少し近距離にする等考慮していただきたいと思います。

〇運動会でも学習発表会でも、過去の学校は教科の授業時間を削り、多くの時間を費やして「見せる」ことを意識した取組を行ってきました。それは本当に子どもに力を付けることになるのかという議論を経て、現在の形に至っています。運動会・学習発表会は、体育や音楽の学習の成果を発表することを通して、学習内容を充実させること、そして取組の過程の中で、友達と協力したり励まし合ったりしながら一体となって目標に向けて努力する力を育むことを目的としています。次年度に向けて保護者の皆様のご意見を参考にさせていただきながら、子どもたちが充実感・達成感を感じられるような工夫を考えてまいります。引き続きご理解をよろしくお願いいたします。尚、行事の詳細についてお知らせするお便りについては、内容が伝わりやすくなるよう、改善していきます。

【学習参観懇談や個人懇談、教育相談】に関わって

・私が子供の頃の参観とは違って、大人もちょっと関われるような時間があったのは面白かったです。日常を通して、子どもたちの成長を見られるのはとても嬉しく思います。
・普段の授業の取り組みを作品鑑賞として取り入れることは良いと思います。
・今時だなと感じたのは映像を使って子どもたちに見せることです。子どもたちにはわかりやすくていいと思う反面、想像力、創造力を奪うツールでもあると個人的には感じています。頻繁に使う事はないかと思ってはいますが。
・前期に一度、希望者だけでも個人懇談の時間で担任の先生とお話する時間があると嬉しかったです。前期に子どもの心配事を対面で相談できない不安がありました。
・個人懇談と教育相談の違いがあまりわかっていないのが本音です。
・学級懇談の参加者が少ないと思います。親の自己紹介等懇談をやめて、先生から子供の様子を伝える場にすると参加者が増えるかもしれません。
・土曜参観をなくしてほしい。仕事と重なって参加できないことが多いため。平日の方が個人的にはありがたいです。
・参観日は午後だけじゃなくて午前の日もあると良い。1日のうちどの時間に参観に行ってもいい日があると行きやすい。
・中学校では先生と生徒で教育相談の機会があるのですが、小学校でも短時間でいいと思うので、先生と生徒がお話をする機会があってもいいのではと思います。
・QR コードを読み取って支払いをするお便りは紙で配布するか、リンクをつけていただけないでしょうか？デバイスが2つないと支払ができないので困りました。ご検討の程よろしくお願いいたします。

学校から

〇個人懇談・教育相談について

個人懇談は、学校からお子様の学習や学校生活の様子等についてお伝えすることを目的としています。教育相談は、保護者の皆様からお子様の学習面や発達面、学校生活での不安等についての相談いただく場として位置付けておりました。違いが分かりにくかったり十分に相談する機会を確保できなかったりという状況が生じてしまい、申し訳ありませんでした。次年度に向けて、個人懇談や教育相談という文言の見直しや保護者の皆様との連携をさらに深めていく取組を考えてまいります。

〇校外学習のバス代等の支払いについて

QR コードでの支払いについては、業者と確認し、URL から支払い画面にアクセスする方法を加えていただくことになりました。1月と２月に予定しているダイナスティスキーリゾートでのスキー学習におけるバス代やリフト代の支払いから使用できるようにいたします。QR コードを読み取る方法、又は、すぐーるの本文に記載される URL から支払い画面にアクセスする方法のどちらかをご利用ください。

他にもたくさんのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。
いただいたご意見は３学期・次年度の教育活動に生かしてまいります。